

## 30-0406

健康人の鼻腔内から分離された *Staphylococcus* 属の菌種

○松原 京子<sup>1</sup>, 大西 邦治<sup>1</sup> (北陸大薬)

【目的】近年の感染症は、感染防御能の低下した患者（易感染性宿主）に発生する弱毒菌感染症を特徴としている。その原因の多くはヒトの常在細菌叢を構成する細菌である。易感染性宿主に病原性を示す *Staphylococcus* 属には、*S.aureus*、*S.epidermidis*、*S.haemolyticus*、*S.lugdunensis*、*S.saprophyticus* などがある。*S.aureus* は鼻腔粘膜に、*S.epidermidis*、*S.haemolyticus*、*S.saprophyticus* は皮膚に主に生息することが知られている。しかし、*S.lugdunensis* は生息場所について、いくつかの報告があり、はっきりしていない。*S.lugdunensis* がヒトの鼻腔内に生息するのかどうかを知るため、健康成人の鼻腔内常在菌について *Staphylococcus* 属の菌種とその割合を調べた。同時に *Staphylococcus* 属以外の菌についても調べた。

【方法】鼻腔内より綿棒で採取した菌を血液寒天培地に塗布後、37℃で培養した。形成されたコロニー100～200個（一試料あたり）をマンニト食塩培地、血液寒天培地、トリプチケース・ソイ寒天培地につりあげ、これらすべてについて菌種の同定を試みた。同定はグラム染色、生化学的試験により行った。

【結果および考察】健康成人12名それぞれについて、*Staphylococcus* 属、グラム陽性球菌（除 *Staphylococcus* 属）、グラム陽性桿菌、グラム陰性球菌、グラム陰性桿菌の割合を調べた。大部分の菌は *Staphylococcus* 属かグラム陽性桿菌に分類された。*Staphylococcus* 属菌として、*S.aureus*、*S.epidermidis*、*S.lugdunensis*、*S.capitis*、*S.simulans*、*S.hominis* が分離された。*S.lugdunensis* は12名中8名（67%）から分離され、鼻腔内に存在することが判明した。これらが常在しているのかどうかは期間をおいて調べる予定である。高い検出率（67%）については、サンプル数を増やして調べる必要がある。